

各位

全2ページ  
登録速報(2026-072)  
2026年5月18日  
クミアイ化学工業株式会社  
企画普及部普及課

## 登録速報

下記の通り、注意事項変更届けを提出しましたので、ご連絡します。

提出日：2026年5月13日

(注意事項は届けを提出した段階で、登録変更となります)

## 記

### 1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第24991号

名称：グラスショット液剤

### 2. 変更を生じた年月日

令和8年5月13日

### 3. 変更を生じた事項及び変更の内容

農薬登録申請書第7項「農薬の使用上の注意事項(8に掲げる事項を除く。)」5)を以下の通り変更し、別紙のとおりとする。

#### 【変更前】

5) 草丈抑制による刈り取り軽減目的で使用する場合、本剤の散布時期は、水田畦畔の雑草生育初期又は草刈り後10～20日(草丈10cm)程度、樹木等の雑草生育期又は刈取後(草丈30～50cm程度)であり、時期を失しないように散布すること。  
なお、ナガエツルノゲイトウは草丈30cmまでが散布適期である。

#### 【変更後】

5) 草丈抑制による刈り取り軽減目的で使用する場合、本剤の散布時期は、水田畦畔の雑草生育初期又は草刈り後10～20日(草丈10cm)程度、樹木等の雑草生育期又は刈取後(草丈30～50cm程度)であり、時期を失しないように散布すること。  
なお、ナガエツルノゲイトウは草丈30cm、オオフサモに対しては草丈30cmまでが散布適期である。

上記を踏まえ、農薬登録申請書第7項を別紙のとおりとする。

### 4. 変更の理由

オオフサモの散布適期を追加するため。

## 7. 農薬の使用上の注意事項（8に掲げる事項を除く。）

## 【変更後】

- 1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 2) 散布前によく攪拌すること。
- 3) 沈殿が生じることがあるので、よく振ってから使用すること。
- 4) 展着剤の加用の必要はない。
- 5) 草丈抑制による刈り取り軽減目的で使用する場合、本剤の散布時期は、水田畦畔の雑草生育初期又は草刈り後10～20日（草丈10cm）程度、樹木等の雑草生育期又は刈取後（草丈30～50cm程度）であり、時期を失しないように散布すること。なお、ナガエツルノゲイトウは草丈30cm、オオフサモに対しては草丈30cmまでが散布適期である。
- 6) 雑草の生育期に薬液が雑草の茎葉全体に均一にかかるようにすること。また、雑草が大きくなりすぎると効果が低減するので時期を失しないように散布すること。
- 7) 公園、堤とう等において、体系で処理する場合、2回目の処理は1回目処理後、40～50日後に実施すること。
- 8) 散布後6時間以内の降雨は効果を減ずることがあるので、天候を見極めてから散布すること。
- 9) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 10) 低温下では効果の発現が遅れることがある。
- 11) 雑草の種類によっては効果の変動する場合がある。
- 12) クズのつる注入処理をする場合には次のことに注意すること。
  - ① 処理位置は、株元から50cm以内とし、刃物等で外皮を木質部が見える位に剥皮して、薬液が十分付着するように滴下すること。
  - ② 株頭が大きく、複数のつるが出ているものは、すべてのつるに薬液を処理すること。
- 13) 水稻に直接かからないようにすること。
- 14) 幼穂形成期から乳熟期の水稻に飛散した場合、出穂、粃の品質に影響することがあるので、散布に当っては飛散防止ノズルを使用すること。
- 15) 水稻以外の作物及び有用植栽木の茎葉部へ薬液が飛散した場合、葉の黄化、落葉、枯死等の薬害が発生するので、田畑、果樹園等の周辺では流入、飛散に十分注意すること。
- 16) 少量散布は専用ノズルを使用すること。
- 17) 散布や調製に使用した器具・ホース等は水洗い、水通しをすること。
- 18) 公園、堤とう等で使用する場合、特に以下のことに注意すること。
  - ① 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分注意すること。
  - ② 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、容器等は、環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 19) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。